



BAJA!

切石智子 メモリアルパーティー

9月20日[土] pm6:00start
at 伽奈泥庵

kiriishi tomoko
19680214~20030701



きりいしを見送って2ヶ月ちょい。
ウソみたい、ホントかな?と今でも思います。
きりいしと関わったすべてのひとが、
きっとそう思っていることでしょう。
このさき、まだまだ続くと思っていた、
きりいしとの時間の途中で、彼女は
フッとなくなってしまいました。
いや、いなくなつたのではなくて、
またフラッと旅に出てしまつただけ。
きりいしと関わったすべてのひとが、
きっとそう思っていることでしょう。
きっとそうにちがいない、
きりいしならやりかねない。

またフッと舞い戻ってきたときのために、
彼女が愛してやまなかつた音楽と
大好きだったおしゃべりを
お気に入りだつた場所で。

きりいしを知るひとも
これから知るひとも
みんなで集まりましょう。

またフッと舞い戻ってきたときのために。

植田唯起子

切石智子(きりいしともこ)

2月14日、バレンタインデーに生まれる。80年代後半より、ヴィデオ・アーティストとして創作活動をスタート。90年代に入ると、その生来の個性と、たぐい稀な好奇心によって表現の場を飛躍的に拡げ、切り絵、イラスト、小説、エッセイ、音楽評論、書評、等各方面にわたって、トリックスター的存在となる。ミュージシャンとしても、アコーディオンプレーヤーとして「吉村うみぼうず」「グリフィン」最近では、「ローズ・アンリミテッド」などに参加。また、ラテン音楽への傾倒から、キューバダンス、サルサ等への造詣も深く、自らもダンサーとして舞台に立つ。そのかたわら、ラテン諸国とのアーティスト達との親交も厚く、日本のシーンとの橋渡し役を努めた。尽きることがないと思われた、無二の才能がまさに枝葉を伸ばしつつあった矢先の突然のゴッドストップだが、切石智子というアーティストの、本当の魅力は、彼女の「存在自体」にあったと思う。彼女の存在を無限だと思う人々にとっては、彼女の魅力は永遠に色褪せることがないだろう。冥福を祈るのはもちろんだけれど、叶うならば、切に“黄泉がえり”を願いたい。

山本精一

出 演

ハッピーカウボーイズ
(吉川義人・山本精一・梶川陽二郎)
河村光司ユニット
青空太郎 他

カンバ 1000円(フード&ドリンクは各自会計)

場 所 伽奈泥庵

大阪市中央区中寺町2-1-64 美好マンションB1-1F
(谷町九丁目下車2番出口から谷町筋を北へ、谷町八丁目左折)
TEL.06-6764-6483 FAX.06-6768-3728

URL : www.kanadian.org

切石智子作、切り絵、写真、その他を展示します。